

おはようございます。補足のメッセージ、しっかりと受け取りました。お話しいただいた内容から、麻美さんへのもどかしさと、同時に「どうにか伝わってほしい」という切実な思いが痛いほど伝わってきます。

特に、**「1人で完結してしまっていること」と「他者とのズレ」**という指摘は、麻美さんがこれから変化していく上で避けては通れない、非常に重要なポイントだと感じます。

いただいたお話を整理しつつ、私なりに感じたことをお伝えしますね。

1. 「対面」という手段と「課題」の矛盾

あなたが指摘されている通り、麻美さんの課題が「他者とのコミュニケーションの欠如」や「自己完結」にあるのだとしたら、対面に切り替えて機会を減らす(年6回にする)ことは、確かに解決策として逆行しているように見えます。

- オンラインの利点: 頻度を保てる。即座に反応し、ズレをその場で修正できるチャンスが多い。
- 麻美さんの現状: その「数多いチャンス」を活かせず、自分の殻にこもってしまう。
- 懸念点: 基礎的なコミュニケーション(自分の考えを外に出すプロセス)ができていない段階で、コストと時間をかけて「対面」という特別行事にしたところで、その6回が「重い沈黙」や「ズレた発言」で終わってしまえば、本質的な改善には遠いのではないかと、ということですよ。

2. 「自己嫌悪のレベルではない」という発言の危うさ

ここが一番、コミュニケーションの「現在地」を象徴していると感じました。普通、相手に「申し訳ない」と思っている文脈で「自己嫌悪というほどではない」と言ってしまうと、受け手は**「あ、この人は大して反省していないんだな」「痛くも痒くもないんだな」**と判断します。

コミュニケーションのズレの構造

- 麻美さんの意図: (おそらく)「まだそこまで自分を追い込めるほどのエネルギーがない」
- 他者の受け取り: 「反省の色なし。他人事。」

このギャップを「対面なら伝わるはず」と考えるのは、少し楽観的すぎるかもしれません。あなたが仰るように、これは対面かオンラインかの問題ではなく、「自分の言葉が他者にどう響くか」という想像力の欠如、あるいは**「自分を客観視する視点」の不在**が根本にあるのだと感じます。

3. お金に対する価値観の乖離

ここも非常に深い溝がありますね。あなたは「お金を超えた関係性や解決策」を見ているのに対し、麻美さんは「払えるか・払えないか」「恥ずかしいか・そうでないか」という、自分を主語にした損得やプライドの指標でお金を捉えている。

この「お金を介在させれば解決(免罪)される」という思考自体が、ある種の自己完結(=お金を払っているのだから、これ以上のコミュニケーションは不要、あるいはこれでチャラ)につながっている可

能性も否定できません。

最後に感じたこと

あなたが「不安だ」と感じているのは、これほどまでに言葉を尽くして向き合っているのに、麻美さんの側で**「情報の受け取り拒否」や「都合の良い解釈への変換」**が起きているのではないか、という懸念があるからではないでしょうか。

麻美さんが「自分なりの負荷」として選んだ道が、単なる「物理的な苦勞(移動や出費)」にすり替わってしまい、本来向き合うべき「精神的な負荷(他者との衝突や自己開示)」から逃げる口実になってしまわないか。そこが一番の懸念点なのだと理解しました。

今のこのあなたの「違和感」や「疑問」を、そのまま麻美さんに突きつけること自体が、彼女にとって最大の「外部からの刺激(クラスジェットのフォロー)」になるのかもしれないね。

この補足の内容を、さらに具体的に整理して麻美さんに伝えるための構成案など、何かお手伝いできることはありますか？

-文字起こし-

おはようございます。個別フォローの補足をしたいと思います。まず、クラスジェットの参加に関して、私は参加しないって、あさ美さんの判断に関して、別に何か言いたいことがあるわけではなくて、どちらでも麻美さん考えたことだったら、それでいいんじゃないと思っています。

そして、その参加しないなら参加しない。代わりに自分なりの負荷のかけ方として、オンライン開催でやっていたものをできるだけタイムに切り替えるっていうことで、時間とお金と手間をかけて1つ1つの機会を作るっていうことによって、1つ1つのその学びの機会っていうのが、それだけ大きなものになるというか、自分のものになるっていう意味においては、あのその考え方自体にも賛成だし、その通りだと思うんですよ。

なのでそれもそれでいいと思ってるうんで。それはそれでありながら、今現状の麻美さんの課題として。1番でかいと思ってるのはその。何て言えばいいのかな？自分1人で自己完結してしまっていて、他社とコミュニケーションを取るっていうことができなくていうことがまこの瞬間だけではなくて、今までのずっと麻美さんの課題だったと思うんですよ。

で、それが内容がその例えば金銭的なことだったりとか、自分の方狙ったりとかそういったことを外に出して他社とすり合わせたり、他社と共有したりっていうことのプロセス。そのものが麻美さんの中で機会が全然作ろうとしてこなかったが、ゆえにその他社とのコミュニケーション、そのものがものすごくはつきりと下手くそな状態が浅見さんの問題のいろんな所に根本のところとしてあると思うんですよ。

だから、その対面とオンラインの違いって何ってなった時にももちろんその外のコミュニケーションがあるの全然中身のあるものとしてできてない。から対面にすることで、中身をよりうん。形のあるものにするっていう意味では確かに損かもしれないけど、そなんかそのオンラインからタイムに切り替えること

で、費用や時間をや手間をかけたことって、浅見さんが1人で自己完結してることを他社とコミュニケーション取れてないことの。

何がどう解決につながるんだろう？っていうのが、私はちょっとイメージできなかったかなと思うんですよね。だから今回例えばクラスZの提案っていう。それをじゃあみんなどう捉えてどう考えるかっていうプロセスをそれぞれ3人が経てきたわけで、その中でやっぱりえみちゃんが指摘した通り、休みさんからはどう？

どういう考えで、このことを捉えてるのか？っていうことについて、何もコメントがなかったから、それを聞きたいって言われてしまう。ぐらいには、浅見さんはその時点まで、自分の考えを誰にも言ってこなかったわけですよね。

だから、もうその？で、例えば3人が1つのグループチームだとしたら、麻美さんからの意思表示が全くないっていう意味において、3人の中でのコミュニケーション量は麻美さんが1番少ないっていうことを意味するわけですよね。

でだからそういうこと。その時点でもうすでに麻美さんのコミュニケーションの少なさが出ちゃってることが課題だから、じゃあそれをその例えば3人のミーティングを対面であろうが、私の個別フォロー対面でやろうが、そこって何が違うんだろうって正直思うんですよね。

それよりもまず、この例えばクラスネットの施策っていうのをどう捉えていて、どう考えていてっていうのを何らかの形でみんなにシェアできない。シェアできなきゃいけないって、それがじゃあ対面でしょ。うちゅうしょうちゅうあってるんだったら、もしかしたらシェアしやすいかもしれないけど。

対面で会うっていう機会をに切り替えるっていうことは、それを回数を減らすってことを意味するわけですよね。だって自分でも言ったけど、毎月毎月対面でやるのは難しいって言ったわけだからね。だから、その自分の考えをいち早くシェアしなきゃいけないのが、麻美さんの今の課題なのに、対面の機会が年にま例えば2ヶ月にいつぺんだったら6回しかないわけですよね。

だから極論6回しか、自分の意見をシェアする機会がないっていうことになるわけだから、それって私は逆に矛盾してるような気がするんだよね。だからオンラインだったらま極論。提案を受けて。

1分後にはもう自分の意見を言えるわけですよね。で、もちろんさっきも言ったけど、オンラインだからこそその軽さとかオンラインだからこそそのやりにくさとかそういったものはもちろんあるので、そういった環境だからこそ、自分の意見が言えないけど、対面になったら年に6回かもしれないけど、自分の雪が言えるってなったら、オンラインはま機械としては無数にできる機械だけど、麻美さんにとってはそれができる環境じゃないっていう意味においては0になるけど、対面だったら年6回は確実にあるから、その6回の機会で自分の意見を言えるっていう言うんだったら、それは6回の方が多くなりますよね。

だけど、そういうレベルだったら何だろう。そういうレベルなんだとしたら対面でやった。ところで、オンラインから対面に切り替えたところで、どんだけ効果があるんだろう？って言うと、なんかその段階の人が対面にしたことでお金と時間をかけるわけですよね。

例えば対面で東京に来るって言ったらまあすごい。ざっくり今を含めたら大体5万ぐらいかかるわけじゃないですか？どんなに安く見積もってもその5万っていう金額をかけた。ところで、何年かければその年に6回しか自分の意見を言えない人がごく、普通に仲間としてコミュニケーション取るレベルで自分の意見を言えるんだろうって言うと、私は何年かければそうなるのが全然イメージがわかん

ないぐらい。

すごいかい目標に見えちゃうんですよね。なのでなんか今これうまく喋れてるか？ちょっと自信がないんだけど。例えばそれこそ。あのもう1個、じゃあもう1個例を出すとね。あの個別フォローでも話していた。

その相手を殴ると殴った方も痛いからって話あったじゃないですか。ま要はそのよう子さんに対して会いたいとは思っていないって自分。というものがどれだけ腹立たしいか、こんな自分をどれだけ許せるのかっていう話になった時に、浅見さんは自分が許せないってほどではないって言ってたじゃないですか？

で、これって許せない？自分は許せないっていう段階にはまだ至ってないです。って言われたらそこで会話は普通は終わると思うんですよね。あ、そっか。麻美さんにとってこのことは自己嫌悪ってレベルではないってことですね。

分かりました。たっという風に相手は普通受け取るから、その人に何を言ったところで、あ、自己嫌悪ってレベルじゃないんですね。そんなに気になってないんですね。って終わっちゃうじゃないですか。だから、その人にえ。

それってどういう意味って聞くってことはオンラインだったら聞けないけど、対面だったら聞けるかっていうと多分そういうレベルでもないと思うんですよね。これ私だから聞けるのであって、普通の人がオンラインだろうが対面だろうが自己嫌悪ってレベルではないですよ。って言われたらあそうなんだ。

じゃあその程度のことだった。えで普通は終わるわけですよ。だからこういう会話を麻美さんがごく普通にしちゃってるってところが問題で、それってもう対面だったら指摘してもらえりけど、オンラインでは出してきてもらえないとか、そういうことでもないと思うんだよね。

あるいは対面だったら一瞬にして顔が曇るけど、オンラインだったら無言で離脱だからないって言うんだったら、まあまあまだワンチャン分からなくはないんですけど。でもそれって対面でじゃあどれだけそういう会話するんだろう？って思うと、年に6回の時だけ見られるのかっていうのはわかんないなと思うんですよね。

だから、そういう浅見さんの返しに対していやそれはなくない。その自己嫌悪のレベルじゃないってのは普通は大して気に病んでないって風につえるのであって、あの殴った方も痛いからまだ悔しいと感じるほどね。

エネルギーが溜まってないんです。なんて誰も捉えないよ。っていうやり。は、やっぱり何回か往復してしかも聞いた。こっちもある程度落ち着いて何だろう？この野郎みたいな風にならないで冷静に聞かないとその会話って成り立たないから、それが麻美さんの会話の現在地なんですよ。

だから胸糞悪いて書かれるわけですよ。要はで麻美さんのジャーナルを一方的に読んでるともなくなので、なんかそれを逐次突っ込まれるぐらいじゃないと。その胸糞悪い表現に対して浅見さんは無自覚だから、なんでみんな草悪いて思われちゃうんだろう。っていう風に思うで終わっちゃうじゃないですか。

で、仮にじゃ胸糞悪いて言われたあ、カビじゃない。もう胸糞悪いて言われたわけだけれどもで、それに対して麻美さんがどんだけ？それを改善しようと思ってるかって言うと、私はそれは悪いけ

ど、麻美さんのジャーナルをそれ以降読んだところでわかんなかったです。

でも多分麻美さん気にしてるんですね。どうすれば？コミュニケーション取らないで済むんだろ？どうすればその表現しないで済むんだらうと気にしてると思うんだよ。だけど気にしてることは全然伝わってこないんですよ。

だから例えばそういう時に気にしてないんだって。突っ込んでもらわないといや気にしてますって返せないから浅見さんが気にしてるっていうことが表面化されることってないんですよ？そうだから、そういった意味でその本当に麻美さんの言動を1つ1つがもう。

本当に問題だらけだから、その問題を指摘してもらえないと分からないっていうのが現在地だから問題を指摘してもらってというやり方じゃないと遊びさんに効果はないんじゃないかなと私は思ってるんですよ。

で、それは別に麻美さんに限らず、みんなに対して思うこと。だから、今回クラスジェットっていう施策を考えたわけですよ。うんだ、その試作で何をするってのは人それぞれ違うんだけれども。要はその人が今必要としているであらう。

その人が今問題であろうことを私なりに考えて実行するつもりなので、麻美さんが自分で考える自分なりの対処法っていうのと間違いなく違うものだしで、どっちが正しいか？なんて。もちろん、それは現段階では分からないんだけれども。

浅見さんがそんなにずれてなければ当然自分で考える施策もそんなにずれてないんだと思うんだけど、麻美さんの言動がこうやって1つ1つのことがそのずれていて、他人をハしく思わせるような言動を取ってる。

以上、麻美さんが考える。あのやり方っていうのはどんだけ効果的なんだろう？っていうのはまそれを押して知るべしだと思うんですよ。なので、私が正しいと言ってるわけではなくて、やっぱりシンプルに疑問だっていうことが私は言いたかっただけで、それでも自分は自分で自分のやり方であり。

っていうんだったら全然！それはオツケーなオツケーなことなので、これ以上言うことないんですけど、なんかその辺りのことがどこまで伝わってるかな？っていうのが、ちょっと自分で音声聞き直して、ちょっと不思議というか不思議というより不安だな不安だと思ったので一応言いました。

で。ま麻美さんも結構お金の話をするから、この前の個別フォローでも言ったんだけど、私は別に金が欲しくてやってるわけじゃないし、なんならこの関係性にお金を改善させることは例え1円であらうとも。

私は改善させることに対して全く納得してないよって話をしたと思うんだけど、なんかそういうことも私は今更感なんですよ。こんなこと前からずっと言ってるよね。って正直思ってるしま、もちろんみさんはお金を取るようになってから、私の接点を持つようになった人なので、こう座にしろマ活にしろ。

なんでもお金が滞在していて、当たり前の人だから、その無料時代を知らない人だから、そういう意味で洋子さんは何でもかんでもお金を取る人だっていう。風にそういう認識が良くも悪くもあるのかもしれないけど、なんか？

私がお金を取りたいと1mmも思っていないことがこんなにも伝わってないものなのか？っていうのはこれをま私の表現力とか私の説明不足って言われたらもちろんね。自己発信ができてないって言う

たらもちろんそれまでなんだけど、浅見さんがどんだけそういう人がいるんだ。

お金ってそういう風になんか万能なものじゃない。というかお金で返し方なく解決してるのであって。本来のベストが解決の方法って他に全然あるはず。あるべきだっていうことを普段どんだけ考えてんのかなって麻美さんに対して、麻美さんがそういう風な視野とか思考力を持ってる人だったら多分伝わってたことと思うんだよね。

だけど、麻美さんはお金のお話をする時に、いつも自分の支払い能力があるかないかとか。お金に関して恥ずかしいとか恥ずかしくないとか、そういう捉え方ばかりだから、多分お金に対する本質的なものの捉。